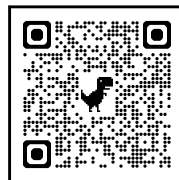




第1回学校評価の結果を受けて～結果及び改善策、学校としての方針等【その1】

保護者の皆様には、一学期末に学校評価に回答いただき、ありがとうございました。児童、保護者、教職員による評価から、成果や課題が明確になりましたので、今後に向けての改善策や学校としての方針等をまとめました。詳しい結果につきましては、学校Webページのトップページから確認することができます。右のQRコードをスマートフォン等で読み取ってもらえれば、トップページが開きます。

学校通信では2号にわたり、「そう思う」と「大体そう思う」の合計が80%未満だった項目のみを取り上げ、その改善策や学校等としての方針等をお伝えしていきます。



I 教育課程・学習指導

児童：あなたは、家で学習や読書をしていますか【69%】

保護者：お子さんには、家庭で学習や読書をする習慣が身に付いていますか【60%】

職員：家庭で自主的に学習や読書をする習慣が身に付くようにする手立てを工夫していますか【73%】

学校では、家庭学習の習慣が確立できるように、宿題などの課題を出すだけでなく、子供たちが学びの楽しさや面白さを実感できる授業づくりに努めています。しかし、回答状況を見ると、学習習慣が身に付いていない児童が多く、保護者から見てもそのように感じる人が多いようです。学校は、家庭学習が習慣化されるように、何のように学習すれば良いかなど、さらに具体的な指導が実践できるように工夫や改善を重ねていきます。また、学習習慣の確立のためには、ご家庭の協力や、保護者からお子さんへの働きかけが不可欠です。学習環境を整えていただくとともに、保護者の皆様もお子さんと一緒に、「なぜ学ぶのか」「学ぶことの大切さ」について一緒に考え、話し合う機会をつくってみてください。小学校段階では、保護者が子供の学習に積極的に関わるのが学習意欲の向上につながりますので、ご協力をお願いします。

II 生徒指導

保護者：お子さんは、あいさつをしたり、場や相手に応じた言葉をつかっていますか【73%】

「あいさつ・返事」ができ、場をわきまえた行動が取れる子供の育成は、学校の重点目標の一つでもあります。特に「あいさつ」は、人間関係づくりの基本であると考え、学校長からも集会等の場で繰り返しその大切さを伝えてきています。また、学級委員が中心となり、毎朝の「あいさつ運動」を継続して行っています。あいさつができる児童は着実に増えてきていますが、保護者からは見ると、言葉遣い等も含め、物足りなさを感じてしまうようです。あいさつや返事、言葉遣い等については、ご家庭の姿勢が重要です。日常的にあいさつや返事が交わされる環境づくりに努めるとともに、思いやりをもって人と接することの大切さについて一緒に考える機会をつくってみてください。

III キャリア教育

児童：あなたは、自分の目標や将来の夢、卒業後の進路について、家族と話すことがありますか【61%】

保護者：お子さんの目標や将来の夢について、家族で話し合うことがありますか【79%】

本校では、「キャリア・パスポート」を活用して、自分自身の特徴を把握したり、将来の生き方を考えさせたりする活動に取り組んでいます。「キャリア・パスポート」とは、小学校から高校までのキャリア教育に関する活動について、自分自身の変容や成長を自己評価できるように蓄積していく記録（ポートフォリオ）のことです。キャリア・パスポートの活用は、学校だけで完結する教育活動ではありません。定期的に家庭に戻っていきますので、内容を確認していただき、お子さんと話し合う機会をつくってみてください。小学校段階では、子供から将来の夢や卒業後の進路について話すのは難しいので、保護者からきっかけづくりをしていただけるとありがたいです。その中で、保護者だからこそかけられる言葉で子供の考えを認め、励ましてあげることで、自己肯定感や前向きな気持ちが育まれますので、ご協力をお願いします。